

VDEC が OCP-IP に参加

オレゴン州ポートランド— 2005年 5月 17日— OCP-IP (Open Core Protocol International Partnership) は本日、VDEC (VLSI Design and Education Center: 大規模集積システム設計教育研究センター) が OCP-IP に参加したことを発表します。1996年に設立された VDEC は、本部を東京大学に置き、日本における研究の中心地として機能しています。

VDEC の使命は、VLSI (Very Large Scale Integration: 超大規模集積回路) 技術に関する知的教育および研究センターとして、学生に教育を施し、日本全国の全学術機関における VLSI チップの製造を支援することです。

VDEC は、IP としての VLSI 設計情報の交換、チップの設計および製造を支援する CAD ソフトウェアやライセンスの提供など、多岐にわたる活動を行っています。

異なる複数の VLSI 製造技術、Verilog /HDL/VHDL/C シミュレーション、合成、レイアウト設計、およびデジタル/アナログ VLSI の検証をサポートするさまざまな CAD ソフトウェア、計測およびテスト機器が VDEC により提供されています。日本国内の 150 を超える大学に存在する 450 以上の研究グループが、VDEC の提供するサービスおよびサポートを活用しています。多数のソフトウェアライセンスが、日本国内の 9 カ所に存在する VDEC サブセンターを介して提供されています。

VDEC の加入は、OCP-IP がこれまで日本およびアジア諸国で受けてきた莫大なサポートが一層強力になることを意味すると共に、Semiconductor Technology Academic Research Center (STARC)、FueTrek、ヤマハ、川崎、図研、SIPAC、Governing Steering Committee メンバー、東芝、および主要数大学を含む OCP-IP の名簿に新たに強力なメンバーが加わったことを意味します。

VDEC の藤田昌宏教授は次のように語っています。「OCP-IP への参加は、我々にとって大変興奮を誘う出来事です。VDEC では毎年何百ものチップが製造されていますが、標準化されたオンチップのバスインタフェースを持つことには非常に大きな意義があります。さまざまな VDEC ユーザー間で IP マクロ交換を実現することは、これまでと比較してはるかに容易になるからです。」

OCP-IP のメンバーには、トレーニング、サポート、ソフトウェアツール、およびドキュメントが無償で提供されます。このインフラストラクチャを活用することにより、IP および EDA ベンダーは独自の規格やサポートツールを設計、文書化、トレーニング、および開発する必要がなくなります。このため、IP および EDA ベンダーは、IP の開発に労力と資源を集中させ、開発した IP を広範囲な SoC 設計内で迅速に統合し、容易に検証できるようになります。その結果、IC 設計チームは重要な資源を製品の設計および供給のみに投入できます。

OCP-IP の Ian Mackintosh 会長は、次のように語っています。「我々は、日本において OCP-IP に莫大な支援が行われるのを見てきました。VDEC と新たに結ばれた関係は、日本国内の大学と OCP-IP の共同作業をさらに容易にするものとなるでしょう。また、OCP-IP がメンバーとのコミュニケーションを図り、業界全体の利益のために一層尽くす上で大いに資するものとなります。」

OCP-IPについて

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は2001年、相互接続が可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する完全なソケット規格として、Open Core Protocol (OCP) を推進、サポートする目的で発足しました。OCP-IPの Governing Steering Committee にはNokia社[NYSE: NOK]、Texas Instruments社[NYSE: TXN]、STMicroelectronics社[NYSE: STM]、東芝セミコンダクターグループ (TAEC東芝アメリカ電子部品社を含む)、Sonics社が参加しています。OCP-IPは非営利団体で、完全に支援されたオープンライセンス方式のコア中心プロトコルを初めて提供しました。OCPはIPコアの再利用を容易にし、SoC設計期間やリスク、製造コストを軽減します。VSIAはOCPソケットを支持していて、OCP-IPはVSI Allianceに加入しています。詳しい背景やメンバーシップ情報については、www.OCPIP.org をご覧ください。

すべての商標およびサービスマークはそれぞれ各社の所有物です。